

株式会社四万十ドラマのノウハウ移転事業について

1. 事業モデル名：「四万十川方式」地元発着型産業創出プロジェクト

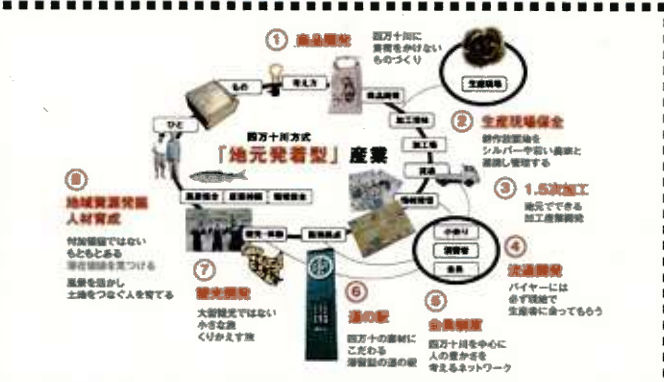
2. 事業者の概要
 補助事業者名：株式会社四万十ドラマ
 所在地：高知県高岡郡四万十町
 取り組んでる社会的課題：四万十川流域の地域資源を活用した商品開発と販路開拓による第一次産業の活性化、及び四万十情報発信による交流人口の増加。
 課題への取組：「四万十川に負担をかけないモノづくり」をコンセプトに地域素材に拘った商品開発を実施し、地域資源の見直しと地域資源の活用による地域経済の活性化に寄与。また、会員組織である「四万十川ファンクラブRIVER」は、商品開発におけるモニタリング調査に利用しているとともに、四万十情報の発信ツールとして交流人口の増加に貢献している。

3. 事業モデルの革新的な点・成功の秘訣
 地域にもともとある素材を使い、地域の方々を巻き込んで行う商品開発は、「四万十川に負担をかけない商品作り」というコンセプトのもと数々のヒット商品を産み出し、全国的にも高い評価を得ている。中でも古新聞を利用した新聞バッグは、時代のニーズとマッチし大ヒットとなっている。

4. 移転先：
 ①熊野若者塾(三重県熊野市)：ノウハウ不足により、世界遺産となった熊野古道というブランドを活かした商品開発など付加価値を高めるものづくりが出来ていない。
 ②有限責任事業組合あおぞらB組(青森県大間町)：地域づくりや商品開発のノウハウが不十分。
 ③株式会社御祓川(石川県能登地区)：地域産品開発や都市住民との交流などに関わる四万十のノウハウが有効と考える。



開発した商品アイテム



モノづくりのコンセプト



地域素材を商品化した事例